

乗鞍岳及び南アルプス（白根三山）における 捕食者調査の実施状況について

1. 目的

乗鞍岳及び南アルプスにおいて、キツネ等のライチョウの捕食者およびサルやシカの高山での生息状況を調べるため、自動撮影カメラ調査を実施した¹。

2. 乗鞍岳

乗鞍岳については、ファウンダー確保事業と併せて自動撮影カメラによる捕食者調査を実施した。自動撮影カメラについては、捕食者の高山への進入路と考えられる、けもの道周辺及び発見した巣の周辺の2つのポイントに設置した。けもの道周辺へは4台のカメラを設置、巣の周辺としては計8巣に設置した。



写真1 けもの道周辺の設置カメラ



写真2 巣の周辺の設置カメラ

3. 南アルプス北岳周辺

南アルプスについては、ケージ内保護方法の実施と併せて自動撮影カメラによる捕食者調査を実施した。自動撮影カメラについては、捕食者の高山への進入路と考えられる、けもの道周辺及びケージ周辺の2つのポイントに設置した。けもの道周辺へは10台のカメラを設置、ケージ周辺にはケージ内外に1台ずつ2ケージ計4台を設置した。



写真3 カメラ設置の様子



写真4 カメラ周辺の風景

¹ 現在、撮影写真の解析を実施中のため、調査実施方法の報告とした。